

みずほCustomer Desk Report 2021/10/14号(As of 2021/10/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.48
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	113.54	1.1531	130.90	1.3590	0.7334
SYD-NY High	113.80	1.1597	131.46	1.3665	0.7381
SYD-NY Low	113.23	1.1530	130.90	1.3579	0.7324
NY 5:00 PM	113.25	1.1596	131.33	1.3664	0.7381

NY DOW	34,377.81	▲ 0.53	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	14,571.64	105.71	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	4,363.80	13.15	米国2年債	0.3590	1.81bp
日経平均	28,140.28	▲ 90.33	米国5年債	1.0736	0.34bp
TOPIX	1,973.83	▲ 8.85	米国10年債	1.5403	▲ 3.05bp
シカゴ日経先物	28,225.00	30.00	独10年債	-0.1300	▲ 3.25bp
ロンドンFT	7,141.82	11.59	英10年債	1.0900	▲ 5.60bp
DAX	15,249.38	102.51	豪10年債	1.6960	▲ 3.40bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.33	▲ 0.43%
上海総合	3,561.76	14.83	USDJPY 3M Vol	6.35	▲ 0.20%
NY金	1,794.70	35.40	USDJPY 6M Vol	6.50	▲ 0.15%
WTI	80.44	▲ 0.20	USDJPY 1M 25RR	-0.03	Yen Call Over
CRB指数	235.699	▲ 0.17	EURJPY 3M Vol	6.38	▲ 0.19%
ドルインデックス	94.08	▲ 0.44	EURJPY 6M Vol	6.85	0.00%

東京	東京時間のドル円は113.54レベルでオープン。米長期金利の上昇が一服したことや、急激なドル高進行を受けて利益確定の売りが進んだことで、ドル円は一時113.35まで下落。売り一巡後は買い戻される展開となり、結局オープンとほぼ同水準の113.50レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.50レベルでオープン。午後に米指標を控え、113.48-61で推移し113.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3609レベルでオープン。英8月成長率は予想をやや下回り、かつ前月分が下方修正されたものの1.36台で踏みとどまると全般的なドル売りの中でポンドにも買戻しが入り一時1.3644まで買われる。結局1.3620レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は113円台半ばでレンジトレード。アジア時間では利益確定の売りが先行し、113.35まで下落する場面もあったが、米国時間に9月CPIやFOMC議事録の発表を控える中、この水準で下げ渋る。欧州時間にかけてじりじりと買い戻され、113.57レベルでNYオープン。朝方は米9月CPIが発表され、前月比ベースで予想を上回ったことからドル買いで反応し、113.80をつけ、約2年10か月ぶりの高値を更新。しかし1.6%に迫る動きを見せていた米長期金利が1.52%台まで低下したことや米株の軟調推移を受けて、ドル円も売りに転じ113円台半ばまで反落。海外時間安値(113.35)を下抜けると113.23まで売られるも、すぐに113.40付近まで反発。午後はFOMC議事録の公表前で再びレンジトレード。14時のFOMC議事録では「テーパリングは11月半ばから12月半ば開始で来年半ば頃に終了の可能性」、「当局スタッフはインフレ見通しを引き上げるのも一過性となお判断」と伝わるも、特段目新しい情報も見当たらず、市場の反応は限定的だった。終盤は米金利低下ドル売りの流れが継続。ドル円は安値付近まで下落し、結局、113.25レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.15台前半でスタート。ポジション調整のドル売りが進む中、ユーロドルは1.1560近辺まで上昇。欧州時間に入ると方向感に欠いた展開となり、1.1565レベルでNYオープン。朝方は米CPIの結果を受けて1.1536をつけるも、すぐに米金利低下ドル売りの流れに転じ、下落分を全て取り戻した。その後はじり高推移が続き、1.1597までの高値を更新。1.16台回復には至らず、結局、1.1596レベルでクロス。

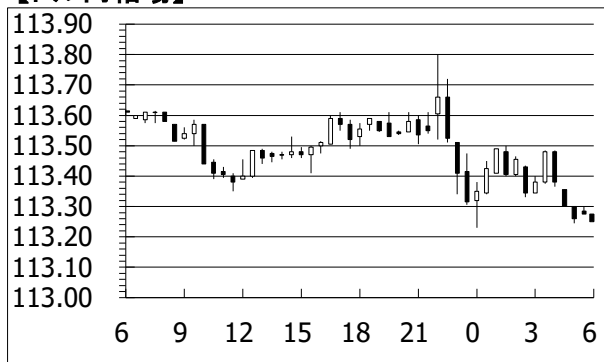
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月13日	12:07	中 貿易収支	9月 \$66.76b	\$45.00b
	12:07	中 輸出/輸入(前年比)	9月 28.1%/17.6%	21.5%/20.9%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.0%/4.1%	0.0%/4.1%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 -1.6%	-1.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.4%/5.4%	0.3%/5.3%

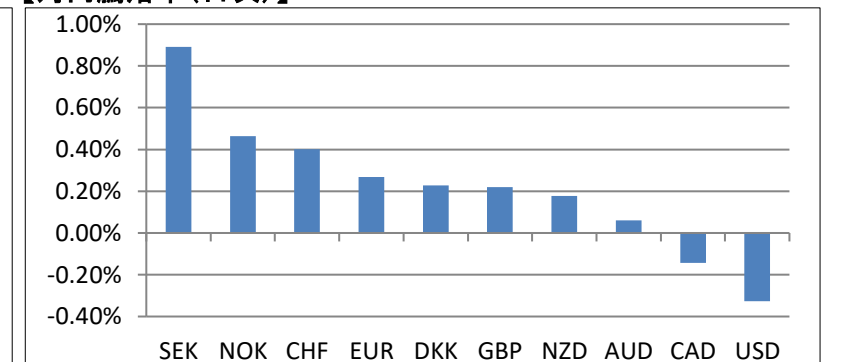
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月14日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	9月 -110.0k/4.8%	-146.3k/4.5%
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	9月 0.8%/10.5%	0.8%/9.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 320k	326k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.6%/8.7%	0.7%/8.3%
	21:35	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
10月15日	02:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-114.00	1.1510-1.1650	130.50-131.80

【マーケット・インプレッション】

昨日は発表された米9月のCPIは前月の数字、さらに予想を上回る内容となった。これを受けドル円は一時113.80と3年ぶりの高値を付けた。ただし、発表後に米金利が低下に転じるとドル売り優勢となり、ドル円は113.20台にまで低下した。また、発表されば9月のFOMC議事要旨は特段新しい内容ではなかったことから相場への影響は限定的となった。本日は米9月のPPI、さらに中国でもインフレ指標が発表される。米国に続き中国でのインフレ懸念が高まる結果となると他国へのインフレ波及懸念が強まることとなるだろう。そうした場合、ドル買いの流れは継続すると予想され、ドル円は底堅く推移するだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・大谷